殺虫殺菌剤

箱いり娘®粒剤

クロチアニジン……1.5%
スピネトラム……0.5%
イソチアニル……2.0%
フラメトピル……4.0%

種類名／クロチアニジン･スピネトラム･イソチアニル･フラメトピル粒剤
農林水産省登録／第23033号（住友化学登録）
毒性／普通物*
有効年限／5年
包装／3kg×6、10kg

特　長

- いもち病、紋枯病など水稲の主要病害に優れた効果を発揮します。
- 水稲初期害虫・ウンカ類・コブノメイガ・フタオビコヤガなど水稲の主要害虫に優れた効果を発揮します。
- 稲に対する安全性が高い薬剤です。

適用病害虫と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	総使用回数*	使用方法
稲 （箱育苗）	いもち病 紋枯病 白葉枯病 もみ枯細菌病 穂枯れ （ごま葉枯病菌） 内穎褐変病 疑似紋枯症 （褐色紋枯病菌 赤色菌核病菌 褐色菌核病菌） ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ フタオビコヤガ イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ニカメイチュウ イネツトムシ イネヒメハモグリバエ	育苗箱 ［30×60×3cm、使用土壌約5ℓ］ 1箱当り50g	移植7日前～移植当日	本剤　1回 クロチアニジン剤　4回 ［移植時までの処理は1回、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回］ スピネトラム剤　3回 ［移植時までの処理は1回、本田では2回］ イソチアニル剤　3回 ［移植時までの処理は1回、本田では2回］ フラメトピル剤　2回 ［移植時までの処理は1回］	育苗箱の上から均一に散布する
		高密度には種する場合は1kg/10a ［育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）1箱当り50～100g］			
稲	いもち病 紋枯病 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ニカメイチュウ	1kg/10a	移植時	本剤　1回 クロチアニジン剤　4回 ［直播では種時又は移植時までの処理は1回、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回］ スピネトラム剤　3回 ［直播では種時又は移植時までの処理は1回、本田では2回］ イソチアニル剤　3回 ［直播では種時又は移植時までの処理は1回、本田では2回］ フラメトピル剤　2回 ［直播では種時又は移植時までの処理は1回］	側条施用

（つづく）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	総使用回数*	使用方法
湛水直播 水稲	いもち病 紋枯病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ニカメイチュウ フタオビコヤガ イネツトムシ キリウジガガンボ	1kg/10a	は種時	本剤　1回 クロチアニジン剤　4回 ［は種時までの処理は1回、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回］ スピネトラム剤　3回 ［は種時までの処理は1回、本田では2回］ イソチアニル剤　3回 ［は種時までの処理は1回、本田では2回］ フラメトピル剤　2回 ［は種時までの処理は1回］	は種同時施薬機を用いて土中施用する



使用者への被害防止方法（調製・散布）
稲・湛水直播水稲：不浸透性手袋



使用にあたって

■使用上の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。
- 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）1箱当りに乾籾として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 側条施用する場合は、粒剤が均一に散布できる施用装置を装着した田植機を使用してください。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■薬　害

- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗等には薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出しないように注意してください。
- いぐさ栽培予定の水田では使用しないでください。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないでください。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布してください。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけてください。

■生活環境動植物への注意

- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■安全使用上の注意

- アレルギー性反応を起こすおそれがあります。

■貯蔵上の注意

- 密封し、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。

本資料の記載内容は2026年4月10日現在の登録内容に基づいています。